Ⅰ．学校の現状

学校名
専修学校徳島県美容学校

所在地
徳島県徳島市佐古二番町３－５

沿革	
昭和30年 9月	私立各種学校徳島高等美容学校として認可
昭和30年10月	厚生大臣指定徳島県美容師養成施設として夜間課程、通信課程を創立
昭和33年12月	校舎移転
昭和34年 3月	養成所廃止
	徳島県美容業環境衛生同業組合立徳島高等美容学校設立
昭和52年 6月	校舎移転
昭和57年 4月	昼間課程設立、夜間課程廃止
昭和61年 1月	校舎改装
平成10年	新制度に変更
平成12年 4月	専修学校に変更
平成22年 4月	新校舎設立

学科の構成
衛生課程　美容科
衛生課程　美容ダブルライセンス科
衛生課程　別科　通信課程　美容科
衛生課程　別科　通信課程　美容ダブルライセンス科

学生数及び教員の数
衛生課程　学生総数52名
衛生課程　別科　学生総数31名

Ⅱ．学校の理念

教育理念
「笑顔と感謝の心」本校では、この言葉を重んじ、高い知識と技術のみならず、心ある人材を育成し、社会に貢献することを使命と考え、その基本姿勢を学則に記している。 （学則）

第１条　　本校は教育基本法及び学校教育法並びに私立学校法に従い、人格の完成と、平和的な国家及び社会の形成者として、勤労と責任を重んじ自主的精神に充ちたる心身共に健康なる生徒を育成することを目指し、社会人としての教養と、近代的な感覚と、専門的な知識と技術を修得せしめ特に美容技術の研究研磨並びに衛生知識の向上をはかるを目的とする。

Ⅲ．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育目標
・美容の基本的知識及び技術はもちろんのこと、美容師として必要なエステ、ネイル、メイク、着付など幅広い技術を修学し、多様化するニーズに柔軟に対応できる技能を身につける。そして、いかなる時代であっても必要とされる「美容」という職業を通して、社会に貢献できる美容師を育成する。 ・本校の教育理念に基づき、笑顔と感謝の心を忘れない、人として魅力ある人間性豊かなの人材を育成する。

Ⅳ．評価項目の達成及び取組状況

１．教育理念・目標

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
1-1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	1	3	0	0
1-2	・学校における職業教育の特色を定めているか	0	4	0	0
1-3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	0	2	2	0
1-4	・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	0	3	1	0
1-5	・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	0	3	1	0

①　課題

（　美容業界の変化に対応し、学生１人ひとりの将来像に合わせた教育を提供していく。　）

②今後の改善方策

多様になってきた美容業界の各分野において卒業生が対応できるよう
メイク・ネイル・まつ毛エクステなどの資格取得にも力をいれる。

③特記事項

2．学校運営

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
2-1	・目的に沿った運営方針が策定されているか	0	3	1	0
2-2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	0	3	1	0
2-3	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	0	2	2	0
2-4	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	0	0	3	1
2-5	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	0	2	2	0
2-6	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	0	3	1	0
2-7	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2	1	1	0
2-8	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	1	2	1	0

①　課題

人事、給与に関する規程等が整備できていない。

②今後の改善方策

社労士に就業規則や給与規定を作成してもらいたい。

③特記事項

（　　）

３．教育活動

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
3-1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	1	2	1	0
3-2	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2	2	0	0
3-3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2	2	0	0
3-4	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	0	3	1	0
3-5	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	0	3	1	0
3-6	・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	0	4	0	0
3-7	・授業評価の実施・評価体制はあるか	1	3	0	0
3-8	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	1	3	0	0
3-9	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	0	3	1	0
3-10	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	1	3	0	0
3-11	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	1	1	1	1
3-12	・関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	0	3	1	0
3-13	・関連分野における先端的な知識・技能等を習得する為の研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	0	3	1	0
3-14	・職員の能力開発の為の研修等が行われているか	0	2	2	0

①　課題

（　国家試験合格を前提として、卒業後全員が就職することを目指す。教員不足。　）

②今後の改善方策

（早急に教員を確保し、教員の育成に取り組む必要がある。）

③特記事項

（月に１回、組合（卒業生、先生方）に講習をして頂く等。）

４．学修成果

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
4-1	・就職率の向上が図られているか	2	2	0	0
4-2	・資格取得率の向上が図られているか	2	2	0	0
4-3	・退学率の低減が図られているか	2	1	1	0
4-4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	0	3	1	0
4-5	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	0	2	2	0

①　課題

（就職は教育目標の一つであり、就職の指導、
ガイダンス、 インターンシップ等、個別指導を実施する。）

②今後の改善方策

（定期的に個別面談などを行ってメンタルケアを行っている。）

③特記事項

（　）

５．学生支援

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
5-1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	1	0	0
5-2	・学生相談に関する体制は整備されているか	2	2	0	0
5-3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	1	3	0	0
5-4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	0	4	0	0
5-5	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	0	3	1	0

5-6	・学生の生活環境への支援は行われているか	0	4	0	0
5-7	・保護者と適切に連携しているか	1	1	2	0
5-8	・卒業生への支援体制はあるか	0	3	1	0
5-9	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	0	4	0	0
5-10	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	0	3	1	0

① 課題

（学生の出席状況など保護者と連絡を取り、状況により面談を行いサポートする。）

②今後の改善方策

（学生に寄り添い、必要に応じて最善の対応をする。）

③特記事項

（　　）

６．教育環境

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
6-1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	0	2	1	1
6-2	・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	0	3	1	0
6-3	・防災に対する体制は整備されているか	0	4	0	0

① 課題

（インターンシップを実施し、各学生の評価をしてもらい、
学生に自己を再評価し、就職への意識付けに活かす。）

②今後の改善方策

施設、設備に関して、備品等は購入できても根本的に変えることができない。

③特記事項

7．学生の受け入れ募集

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
7-1	・学生募集活動は、適正に行われているか	2	2	0	0
7-2	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2	2	0	0
7-3	・学納金は妥当なものとなっているか	2	2	0	0

① 課題

入学者数は、前年度より増加しているが、
来年度の生徒募集に向けてどう取り組むか。

②今後の改善方策

もっとSNSの活用に取り組みたい。学校訪問をもっと増やした方がいい。

③特記事項

8．財務

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
8-1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	0	1	3	0
8-2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	0	2	2	0
8-3	・財務について会計監査が適正に行われているか	1	1	2	0
8-4	・財務情報公開の体制整備はできているか	1	1	2	0

① 課題

会計処理について、チェック体制が確立していなかった。

②今後の改善方策

すばる会計と理事立ち合いによる毎月の監査を実施している。

③特記事項

理事による資金繰表の作成

９・法令等の遵守

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
9-1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2	2	0	0
9-2	・個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	2	2	0	0
9-3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2	2	0	0
9-4	・自己評価結果を公表しているか	2	2	0	0

①　課題

自己評価での意見など教員で共有し、どのように
取り組んでいくか考えていく必要がある。

②今後の改善方策

職員同士で確認し合い」、意見交換等、情報の共有を図る。

③特記事項

１０．社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
10-1	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	0	3	1	0
10-2	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	0	2	2	0
10-3	・地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	1	2	1	0

①　課題

地域貢献やボランティア活動の実績がない。

②今後の改善方策

（積極的にボランティア活動へ参加する。）

③特記事項

（）

４．1年間を振り返っての反省および来年度への希望

1. 即戦力のある学生の育成（シャンプーができる子）

2. 社会貢献であるボランティア活動を積極的に取り入れる。

3. 実習室のシャンプー台が古いので、夢シャンプーを導入してみて
はどうか。